

ホンダがサークルK・サンクスカップを制す

~日本ハンドボールリーグ第4週~

第27回日本ハンドボールリーグは11月16、17日、男子4試合がサークルK・サンクスカップ最終週として行われ、ホンダが湧永製薬の追撃を振り切って7連勝を飾り、同カップの優勝に輝いた（この1ステージの全結果は3回戦制の総合成績に組み入れられる）。

前週まで6戦全勝のホンダと5勝1敗の湧永製薬がサークルK・サンクスカップ最終戦で優勝をかけて激突。立ち上がり、ホンダはクリエンコ、ストックランのコンビで先行すれば、湧永製薬もプラマニス、下川らで応戦。10分5-5と互角のすべり出しがなったが、このあとストックランのパスカットからの得点で13分9-5と混戦を抜け出したホンダが、クリエンコの巧みなパスワークを受けた池辺のポストシュートなどで加点して前半17-11で折り返した。

後半に入ってもホンダの攻勢が続き、ストックラン、茅場の連取などで5分22-13と大量リードを奪い、試合の行方を決定づけたかと思われた。しかし、ここから湧永製薬が猛反撃。ホンダ・ストックランを徹底マークし、新鋭GK・松村の好守も光って失点を抑える一方、得意のスピーディな展開に持ち込んで次々と速攻を仕掛けた。湧永製薬が13分までに7連取して20-22と急追。その後、両チーム得点の奪い合いとなり、好プレーの応酬で試合は大いに盛り上がった。

26分、浜本の速攻で26-27と湧永製薬が1点差と肉薄。しかし、ここからホンダもしぶとく盛り返し、ストックランの7mT、広政のサイドで27分29-26とリードを死守、湧永製薬の反撃を森山の1得点に抑えて逃げ切りに成功した。これでホンダが7戦全勝でサークルK・サンクスカップの優勝に輝き、この日10得点をマークしたストックランが最高殊勲選手賞に輝いた。

そのほか、大同特殊鋼とホンダ熊本が終始1点を争う大接戦を展開、終盤、米満、佐伯らでリードを奪ったホンダ熊本に対し、大同特殊鋼は朴、太田の連打で残り1分に同点に追いついて19-19と辛くもドロー。大崎電気はトヨタ車体の追撃を振り切って4勝3敗とした。また前週、大崎電気に快勝したアラコ九州がHC東京を逆転で下して2連勝と波に乗ってきた。

次週も男子は各2試合と強行日程が続き、大崎電気が上位生き残りをかけて大同特殊鋼、湧永製薬と連戦。女子は北国銀行・オムロン、広島メイプルレッズ・シャトレーゼの好カードが組まれている。

第5週の日程

(組み合わせ左側がホームチーム)

[1 部]

- 11月20日 水) 愛知・大同工業大学石井記念体育館(名鉄常滑・河和線大同町駅徒歩10分) 18:00~(男) 大同特殊鋼 × 大崎電気
三重・本田技研健保体育館(近鉄線平田町駅徒歩15分) 18:00~(男) ホンダ × アラコ九州
広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分) 18:00~(男) 湧永製薬 × HC東京
熊本・熊本市総合体育館(JR豊肥線水前寺駅徒歩20分) 18:30~(男) ホンダ熊本 × トヨタ車体
- 11月23日 土) 埼玉・八潮市立鶴ヶ曽根体育館(東武伊勢崎線草加駅バス15分) 14:00~(男) 大崎電気 × 湧永製薬
福井・北陸電力福井体育馆フレア(JR北陸本線福井駅バス30分) 15:00~(女) 北国銀行 × オムロン
広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分) 14:00~(女) メイプルレッズ × シャトレーゼ
佐賀・アラコ九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分) 13:00~(男) アラコ九州 × ホンダ熊本
- 11月24日 日) 東京・大田区体育館(京急線梅屋敷駅徒歩5分) 13:00~(男) HC東京 × ホンダ
愛知・知立市福祉体育館(名鉄名古屋本線知立駅徒歩10分) 11:30~(男) トヨタ車体 × 大同特殊鋼

[2 部]

- 11月21日(木) 山口・徳山市総合スポーツセンター 18:15~トヤマ×トヨタ自動車 / 11月23日(土) 愛知・豊田合成(株)健康管理センター 14:00~豊田合成×北陸電力 兵庫・大阪ガス今津総合グランド 15:00~大阪ガス×インテックス21



サークルK・サンクスカップのMVPに輝いた
ホンダ・ストックラン

オムロンがシャトレーゼを破り3連勝 女子

女子は茨城などで2試合が行われ、シャトレーゼ・オムロン戦は、高知国体決勝のリベンジに燃えるオムロンがシャトレーゼを18-16と破って3連勝をマーク。有力候補と見られたシャトレーゼはオープニングの北国銀行戦に続く開幕2連敗と苦しいスタートとなった。

この試合、早船の鮮やかな先制ゴールで好スタートを切ったシャトレーゼが穂積のロングをからめて前半15分5-3と優位に立っていたが、このあと要所のシュートをオムロン・GK吉田に阻まれてペースを崩し、逆に安心院で加点したオムロンに10-9とリードを許して前半を折り返した。後半も変わらず主導権はオムロン。しかし、オムロンは7分、8分と連続して劉、佐久川が失格となり、流れはシャトレーゼかと思われたが、ここから気迫のディフェンスでピンチをしのぎ、藤長、金城らで追加点を奪ってシャトレーゼ必死の反撃を振り切った。5本の7mTをシャットアウトするなどオムロン・吉田の好守が際立った一戦だった。

H C名古屋 - ソニーセミコンダクタ九州戦は、エース田中の活躍で前半14-8とリードを奪ったソニーセミコンダクタ九州が22-21と初勝利をゲット。H C名古屋は残り2秒で同点とする7mTを得たが、これをソニー・GK飛田に弾かれて万事休した。

11月16日(土) 女子1部
茨城・水海道市民体育館

オムロン

18 (10 - 9) 16

シャトレーゼ

3勝0分0敗

0勝0分2敗

<5/6>	K 吉田	遠藤	K	K 田中利	元村	K <0/1>
3/7 藤長	原田	2/2	0/0 材木	武藤	0/1	
4/7 安心院	桂	0/0	0/0 高山	西村雅	3/5	
0/1 大石	菅原	0/3 1/4	5/11 村上	泉	0/1	
0/0 西本	熊谷	0/1	8/12 アントル	西村英	1/1	
1/1 2/9 富田	稻吉	1/2	5/7 チョレイ	宇田川竜	K <0/1>	
2/2 佐久川	穂積	5/13 0/1	2/2 3/5 植木	布田	0/2 1/2	
1/4 4坂元	橋本	0/1	2/2 鶴田	木村	0/2	
0/1 1屋嘉	藤浦	1/2	2/6 田中慎	須藤	2/5	
0/0 細木	細谷	K <0/1>	0/2 阪	五島	6/15	
0/0 水野	山崎理	4/5	<1/2> K 谷川	飯島	4/9	
2/4 金城	早船	2/9 0/1	0/0 錦戸	佐藤	0/0	
K 勝田	北野	K	佐々木	小野	4/7	
3/8 劉晋淑	寺田	0/0		佐々木	0/0	

1/1 17/43 27(FPP)3

15/38 1/6

審判(浜田・小笠原)

観客 331人

11月16日(土) 男子1部
東京・駒沢体育館

アラコ九州

27 (11 - 12) 21

H C 東京

2勝1分4敗

0勝0分7敗

<5/6>	K 吉田	遠藤	K	K 田中利	元村	K <0/1>
3/7 藤長	原田	2/2	0/0 材木	武藤	0/1	
4/7 安心院	桂	0/0	0/0 高山	西村雅	3/5	
0/1 大石	菅原	0/3 1/4	5/11 村上	泉	0/1	
0/0 西本	熊谷	0/1	8/12 アントル	西村英	1/1	
1/1 2/9 富田	稻吉	1/2	5/7 チョレイ	宇田川竜	K <0/1>	
2/2 佐久川	穂積	5/13 0/1	2/2 3/5 植木	布田	0/2 1/2	
1/4 4坂元	橋本	0/1	2/2 鶴田	木村	0/2	
0/1 1屋嘉	藤浦	1/2	2/6 田中慎	須藤	2/5	
0/0 細木	細谷	K <0/1>	0/2 阪	五島	6/15	
0/0 水野	山崎理	4/5	<1/2> K 谷川	飯島	4/9	
2/4 金城	早船	2/9 0/1	0/0 錦戸	佐藤	0/0	
K 勝田	北野	K	佐々木	小野	4/7	
3/8 劉晋淑	寺田	0/0		佐々木	0/0	

2/2 25/45 6(FPP)9

20/48 1/2

審判(福田・富田)

観客 216人

11月16日(土) 男子1部
東京・駒沢体育館

大崎電気 28 (13 - 13) 23 トヨタ車体

4勝0分3敗

K 原田

7/9 豊田

5/10 中川

0/1 佐藤

4/8 8岩本

4/4 0/0 森本

K 濱口

0/1 秋山

2/2 東

3/3 近藤

2/5 辻林

0/0 太田

11月16日(土) 女子1部
愛知・半田市体育館

ソニーセミコンダクタ九州 22 (14 - 8) 21 H C 名古屋

1勝0分2敗

K 首藤

0/0 岩本

0/0 片山

5/14 田中

5/6 山田

1/2 水田

2/2 4南田

1/1 出雲

0/0 高木

<2/6> K 飛田

1/2 1大田

2/5 佐久川

4/7 佐久川

0/0 貞永

0/1 野口

4/4 24/40 11(FPP)19 23/40 0/0

審判(仲田・植村)

観客 264人

11月17日(日) 男子1部
東京・駒沢体育館

大同特殊鋼 19 (10 - 7) 19 H C 熊本

4勝1分2敗

K 萩原

5/6 松林

0/3 南川

0/4 富本

1/3 峯村

0/4 中谷

1/2 市原

0/0 藤井

1/6 畠中

1/2 佐伯

1/2 1大田

2/5 佐藤

0/0 吉田

2/6 趙範衍

2/3 朴性立

3/5 16/47 15(FPP)5 15/41 4/5

審判(福田・富田)

観客 225人

11月17日(日) 男子1部
東京・駒沢体育館

ホンダ 30 (17 - 11) 27 游永製薬

7勝0分0敗

K 四方

5/6 松林

0/3 大宮

1/2 加藤

0/4 富本

1/2 峯村

0/4 中谷

1/1 島田

0/0 間間田

0/0 作田

0/0 藤井

0/0 佐伯

0/0 田中

0/0 吉田

0/0 朴性立

2/2 28/55 3(FPP)6 24/57 3/3

審判(仲田・植村)

観客 361人

サークルK・サンクスカップ

個人表彰

最高殊勲選手賞

ステファン・ストックラン
(ホンダ)

殊勲選手賞

リボ・ブルーノ ブラマニス
(湧永製薬)

松林 克明(大同特殊鋼)

優秀監督賞

橋本 行弘(ホンダ)

インテックスラガ勝利 2部男子

男子2部は11月16日に愛知、兵庫で1試合ずつが行われ、3戦負けなしの北陸電力を追うインテックスラガが、ホームコートでの戦いに燃える豊田合成に11点差をつけて順当勝ち。

大阪ガス・トクヤマ戦は、9-10と1点リードを許して後半に入った大阪ガスが、8分過ぎからの5連打で逆転に成功。これで波に乗った大阪ガスは、その後もテンポ良く得点を積み重ね、9点差をつけての圧勝。ホームコートでうれしい今期初勝利を飾った。

次週も山口、愛知、兵庫を舞台に、3試合が予定されている。

11月16日(土) 男子2部
愛知・豊田合成(株)健康管理センター

インテックスラガ 25 (12 - 6) 14 豊田合成

2勝0分1敗

3/10 蔵野

0/2 高田

2/4 一法師

3/4 峰

0/0 古川

1/4 久野

2/2 3/4 山口

0/0 吉本

0/0 吳相民

6/12 崎

5/9 佐久間

K 有江

梅村

鈴木

高間

峰

橋村

古川

面家

島田

門野

宮中

墨田

木村

中山

3/14

名倉

佐藤

半田

山田

3/7

0/2 奥野

4/9 三羽

6/10 川野

0/0 大庭

8/9 平野

7/9 浜田

1/2 向井

0/1 佐伯

1/2 田中

0/1 鶴島

1/2 佐伯

男女1部個人賞レース 第4週終了現在

《男子》 《女子》

得点王

1 ブラマニス (湧永製薬)	48 点	(7試合)	1 菅谷 美枝 (H C 名古屋)	18 点	(4試合)
2 クリーチンコ (ホンダ)	40 点	(7試合)	1 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	18 点	(4試合)
2 角谷 裕司 (トヨタ車体)	40 点	(7試合)	3 富田 有美 (オムロン)	16 点	(3試合)
4 ストックラン (ホンダ)	38 点	(7試合)	4 吳 成玉 (メイプルレッズ)	13 点	(2試合)
4 クジノフ (ホンダ熊本)	38 点	(7試合)	5 田中 美音子 (ソニー)	12 点	(3試合)
6 植木 宏和 (アラコ九州)	35 点	(7試合)	6 山田 早織 (ソニー)	11 点	(3試合)
6 朴 性立 (大同特殊鋼)	35 点	(7試合)	6 村上 麻美 (北国銀行)	11 点	(2試合)
8 田中 慎一 (アラコ九州)	31 点	(7試合)	6 穂積 知紘 (シャトレーゼ)	11 点	(2試合)
9 中川 善雄 (大崎電気)	29 点	(7試合)	6 南田 征子 (ソニー)	11 点	(3試合)
9 岩本 真典 (大崎電気)	29 点	(7試合)	10 劉 晋淑 (オムロン)	10 点	(3試合)
9 アントル (アラコ九州)	29 点	(7試合)	11 小野澤 香理 (北国銀行)	9 点	(2試合)
12 チヨレイ (アラコ九州)	27 点	(7試合)	11 藤長 靖子 (オムロン)	9 点	(3試合)
13 村上 直樹 (アラコ九州)	26 点	(7試合)	11 坂元 智子 (オムロン)	9 点	(3試合)
13 加藤 久輝 (トヨタ車体)	26 点	(7試合)	11 羽出重 真紀 (H C 名古屋)	9 点	(4試合)
15 浜本 忠志 (湧永製薬)	25 点	(7試合)	15 佐久川かおり (ソニー)	8 点	(3試合)
15 五島 宏隆 (H C 東京)	25 点	(7試合)			

フィールド得点賞

1 角谷 裕司 (トヨタ車体)	40 点	(7試合)	1 菅谷 美枝 (H C 名古屋)	15 点	(4試合)
2 ストックラン (ホンダ)	37 点	(7試合)	2 吳 成玉 (メイプルレッズ)	13 点	(2試合)
3 クジノフ (ホンダ熊本)	33 点	(7試合)	3 田中 美音子 (ソニー)	12 点	(3試合)
4 ブラマニス (湧永製薬)	32 点	(7試合)	4 山田 早織 (ソニー)	11 点	(3試合)
5 田中 慎一 (アラコ九州)	31 点	(7試合)	4 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	11 点	(4試合)
6 中川 善雄 (大崎電気)	29 点	(7試合)	6 穂積 知紘 (シャトレーゼ)	10 点	(2試合)
7 アントル (アラコ九州)	28 点	(7試合)	6 劉 晋淑 (オムロン)	10 点	(3試合)
7 岩本 真典 (大崎電気)	28 点	(7試合)	8 小野澤 香理 (北国銀行)	9 点	(2試合)
9 チヨレイ (アラコ九州)	27 点	(7試合)	8 藤長 靖子 (オムロン)	9 点	(3試合)
9 植木 宏和 (アラコ九州)	27 点	(7試合)	8 坂元 智子 (オムロン)	9 点	(3試合)
			8 羽出重 真紀 (H C 名古屋)	9 点	(4試合)

シート率賞 (フィールド得点上位10人を対象)

1 チヨレイ (アラコ九州)	27点 / 41射	0.659	1 山田 早織 (ソニー)	11点 / 15射	0.733
2 角谷 裕司 (トヨタ車体)	40点 / 70射	0.571	2 小野澤 香理 (北国銀行)	9点 / 14射	0.643
3 ストックラン (ホンダ)	37点 / 73射	0.507	3 藤長 靖子 (オムロン)	9点 / 16射	0.563
4 中川 善雄 (大崎電気)	29点 / 61射	0.475	3 坂元 智子 (オムロン)	9点 / 16射	0.563
5 アントル (アラコ九州)	28点 / 60射	0.467	5 吳 成玉 (メイプルレッズ)	13点 / 25射	0.520
5 岩本 真典 (大崎電気)	28点 / 60射	0.467			

7m T 得点賞

1 ブラマニス (湧永製薬)	16 点	(7試合)	1 富田 有美 (オムロン)	8 点	(3試合)
1 クリーチンコ (ホンダ)	16 点	(7試合)	2 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	7 点	(4試合)
3 森本 彰宏 (大崎電気)	14 点	(7試合)	3 村上 麻美 (北国銀行)	5 点	(2試合)
4 大田 修一 (大同特殊鋼)	12 点	(7試合)	3 青戸 あかね (メイプルレッズ)	5 点	(2試合)
5 朴 性立 (大同特殊鋼)	10 点	(7試合)	5 南田 征子 (ソニー)	3 点	(3試合)
			5 菅谷 美枝 (H C 名古屋)	3 点	(4試合)

7m スロー阻止賞

1 吉田 耕平 (ホンダ熊本)	10本 / 26射	(7試合)	1 吉田 由香 (オムロン)	7本 / 10射	(3試合)
2 坪根 敏宏 (湧永製薬)	5本 / 16射	(7試合)	2 安達 多華美 (H C 名古屋)	4本 / 8射	(4試合)
3 濱口 靖 (大崎電気)	4本 / 10射	(7試合)	2 飛田 季実子 (ソニー)	4本 / 17射	(3試合)
3 萩田 圭 (大同特殊鋼)	4本 / 11射	(7試合)	4 高森 妙子 (メイプルレッズ)	1本 / 2射	(2試合)
3 谷川 一寿 (アラコ九州)	4本 / 23射	(7試合)	4 浅井 友可里 (メイプルレッズ)	1本 / 3射	(2試合)
			4 宮西 慶乃 (北国銀行)	1本 / 3射	(2試合)
			4 石川 雪絵 (H C 名古屋)	1本 / 7射	(4試合)

第27回日本ハンドボールリーグ成績表 第4週終了 11月17日現在

順位	1部男子	ホンダ	湧永製薬	大同特殊鋼	大崎電気	ホンダ熊本	アラコ九州	トヨタ車体	HC東京	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	ホンダ	30	24	25	26	35	31	32		7	7	0	0	14	203	147	56	
2	湧永製薬	27		23	23	36	36	36		7	5	0	2	10	217	175	42	
3	大同特殊鋼	19	27		21	19	31	26	29		7	4	1	2	9	172	142	30
4	大崎電気	22	22	26		29	22	28	28		7	4	0	3	8	177	156	21
5	ホンダ熊本	18	25	19	26		20	22	25		7	2	2	3	6	155	158	-3
6	アラコ九州	25	30	17	24	20		23	27		7	2	1	4	5	166	192	-26
7	トヨタ車体	20	24	17	23	14	27		20		7	2	0	5	4	145	185	-40
8	HC東京	16	17	16	14	14	21	19			7	0	0	7	0	117	197	-80

順位	1部女子	オムロン	メイプルレッズ	北国銀行	ソニー	シャトレーゼ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	オムロン				21	18	24		3	3	0	0	6	63	45	18
2	広島メイプルレッズ				26		27		2	2	0	0	4	53	36	17
3	北国銀行					18	26		2	2	0	0	4	44	34	10
4	ソニーセミコンダクタ九州	13	18				22		3	1	0	2	2	53	68	-15
5	シャトレーゼ	16		17					2	0	0	2	0	33	36	-3
6	HC名古屋	16	18	17	21				4	0	0	4	0	72	99	-27

順位	2部男子	北陸電力	インテックス21	トヨタ自動車	大阪ガス	トクヤマ	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	北陸電力		23		25	34			3	3	0	0	6	82	52	30
2	インテックス21	19		24		39	25		4	2	1	1	5	107	78	29
3	トヨタ自動車		24		26		29		3	2	1	0	5	79	56	23
4	大阪ガス	16		16		31	17		4	1	0	3	2	80	91	-11
5	トクヤマ	17	17		22		32		4	1	0	3	2	88	129	-41
6	豊田合成		14	16	18	25			4	1	0	3	2	73	103	-30

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。